

## 【市長との地域懇談会 記録】

開催日 平成 29 年 1 月 31 日 (火)

地区 佐八小学校区

会場 佐八小学校 1 階ワークスペース

参加者数 11 人



### 《質問・意見》

市内は働く場所がない。企業誘致の現状、将来の展望はどうか。少子化対策には働く場所の確保は必要。

### 《回答》【市長】

サン・サポート・スクエア伊勢及び神菌工業団地は完売したところです。販売の要件として、5人～10人の新規雇用を条件にし、合わせて120人～130人の雇用確保ができています。製造会社は海外をターゲットにしている。国内は人件費が3倍高くなるため誘致が叶うか問題。今後は、観光産業を盛り立てていく。観光産業の問題点は、他とは報酬が2割5分安で労働時間は3割強となっている。このことの改善と観光内容を体験メニュー等見直していく。雇用促進と宿泊施設の誘致を考える。そのための、税金減免、補助金制度の優遇策も検討していく。

### 《質問・意見》

資料には2060年には、人口が90,000人になり何の対策も講じない場合は66,000人になると予測している。どのような対策を考えているか。

### 《回答》【市長】

雇用の確保が第一で、また、伊勢市に住み続けたいくなるように環境整備が必要。そのためには、出会い・結婚支援から出産への不安を無くし、その後の子育て支援を継続していく。最近、無償化制度を近隣でもしているが効果は薄い。義務教育費や医療費の全額無償化を謳っている所があるが税負担の関係がある。近隣で人口増は玉城町、伊勢市では小俣町ユニチカ跡、二見町の光の街は高齢化率5%となっている。伊勢市全体は30%である。まずは、働く場所の確保と働き方である。飯が食えて子供が学校へ行ける環境を作っていくことを目指して取り組んで行く。

## 《質問・意見》

小中学校の統廃合についての進捗状況はどうなっているのか

## 《回答》【市長】

中島か早修かの協議に入っている。宮川のハザードマップ修正も踏まえどちらが好ましいのか協議に入っている、今後、地元説明へ伺うようになる。宮川・沼木中学校の建設費増額や市全体の公共施設見直しもあってそれらのスケジュールも踏まえ、皆様方に説明に伺う状況となっている。

## 《質問・意見》

確定ではないのですね。地元意見として聞いて欲しい。統廃合となると反対意見もある。人口の動きだが、中島も前は街中で人口も多かった。しかし、最近は更地も目立ち空洞化している。このあたりは伊勢よりは分譲もしており、人口の減少率は低い。今までとは違っている。中島、早修でいいのか精査してほしい。

災害時東北大震災のような津波が来た時のことを考えると、中島は海拔が低い。古文書で外宮が水没したと出ている。万が一に備えて中島へ行くのはどうなのか。また、敷地も狭い駐車場の問題（運動会時）などどうなのか。できれば、佐八学区を残してほしい。人口の流れ動きを見てもう一度精査してみて、こちらの方へ来てもらうことも考えてみては。現在は厚生小より宮山小の児童数が多い。30年後等を見据え慎重な対応を考えてほしい。

## 《回答》【市長】

数字で見ると、第1期の計算は3.11以前の数字で3.11以降の子供の減り具合の数字は変わってきている。沿岸部の子供の減り具合が見通しよりもかなり減っている。当初、宮川左岸北浜、豊浜地区の小学校4校を2校にする予定が、それよりも減り幅が大きくなってきたので、1校になる数字が出てきている。防災面や子供の減り具合をもう一度精査して地区に伺うこととする。

## 《質問・意見》

統廃合のことで、上野小学校が複式になっており、統合に値するとのことで新聞の記事になっていた。計画ではまだ未定ということだが、以前2回ぐらい教育委員会から話を受けたが、ほぼ中島小学校へ行くという話を受けた。佐八・大倉・津村は海拔の関係で高い、中島は低い。何で低い所へやらすのか。自分の子どもだったら反対する。

その中で、三郷山へ1校建設して、中島、早修、上野小学校が行ったら反対も出ないような声も聞く。その中で、教育委員会の方が佐八学区の方は、おぼこい、おっとりしている。競争心を仰ぐようにしたら良いと言った。なんでそこまで言うのか。小さい頃からそんな事は必要ない。市長は、危ない所へみすみすやらすことについてどうお考えか。佐八学区への建設は昔、市の方は結構反対していたと聞く。もう亡くなられた方々が申請して、

やっと建てられた小学校なんです。このようなことから、小学校のために我々もやっているし、積立もやっているし、建てるにあたって、この事も配慮して欲しい。

《回答》【市長】

先ほどの教育委員会の担当者の説明は間違っていると感じています。

佐八小学校に対する地元の気持ちをすごく持っていることは、教育委員会からも聞いている。

《意見》

農業体験についてですが、よその学区は農林のチラシにより田植えや稲刈りをやっている。佐八学区は個人が率先して農業体験の機会をつくっている。まち場の子供もこちらに来てもらって体験してもらえれば良い。

去年は厚生小学校で昔ながらの脱穀機を使った体験をしている。ここだったら直ぐにできる。こういうことも、実践してもらったらどうか。

《回答》【市長】

ありがとうございます。

《質問・意見》

私どもの母も歳をとり、老人ホームに預かってもらうような状況になってきている。どこでも一緒であるが、伊勢市ではここら辺では、前山町の入口に特別老人ホームあるが、伊勢市としては特養に入るのが何百人待ちと聞く。もうちょっと入り易いように特養を増やして欲しい。建設予定はないのですか。

《回答》【市長・健康福祉部長】

市長になった7年前、ものすごく特養のリクエストが多くて、その当時で延べ1500人の待ちがあり、民間の事業者さんをお願いして前倒しで計画をすすめているところです。まだ、1000人ぐらい待ちがあるのですが、今は特養とは別に、有料老人ホームやサービス付高齢者住宅がすごく出来ており、昔は、なかなか入れないと苦情をいただいていたが、今はそれほどいただけてない。実際、昔よりは市長が言われたようにここ何年かで200超増やしてきていますので、今、実数より待ちは無いかと思っています。

《意見》

なるべくならば伊勢は伊勢の所で入りたいと。伊勢の人も、市外の施設へ沢山入っていると聞くので、なるべくならば、伊勢は伊勢の近い所で入りたいと思っています。

《意見》

伊勢市では建設予定はあるのですか。

《回答》【市長・健康福祉部長】

三重県の基本計画のもと進めており、今度 40 床を増やす予定です。あと、グループホームとか介護付き有料老人ホームと併せて予定の施設は整備させていただいています。